

ロスタイムの歓喜、最高の夜。借りは返した！  
岐阜2-愛媛【第2節】

F C岐阜対愛媛FC戦は2対1で見事な逆転勝利。後半に1点を先制され苦しい試合展開の中、後半28分に高木選手の同点ゴール、後半44分に染矢選手の逆転ゴールでの見事な勝利。相手が二人いなくなった幸運もあったけどとにかく今は勝つ事が大事。次の試合も頑張ってほしい。F C岐阜頑張れ！（ハマッチ）

ロスタイムに入って暫くしたところ、永芳が誰もいないはずの左コーナーポスト付近の無人のエリアに柔らかいパスを出した時、僕は声を失ってしまった。自分の視界には入っていなかったもののそこに誰かが飛び込んでくると直感で感じ取れたからだ。果たしてそこには和正が飛びこんできた。「息をのむ瞬間」。クロスが上がり、染矢が振りぬく。岐阜のサッカーが進化その瞬間を目の当たりにしたのかもしれない。とても幸福な一瞬だった。（ST57）

前回の愛媛戦といえば、サッカーダイジェスト誌で、監督が今年のファーストマッチに上げたくらいに良くない試合。この試合は現地で見ていて、選手たちが動いていなくて、3失点で完封された苦しい思いが。さらにいえば、昨年の試合も含めて、愛媛から1点も取っていないとても相性の良くない相手。

そんな愛媛相手に前半は0-0 やや押し気味に。後半に入って15分、嶋田と新加入の押谷を投入。ところが、ポジションの確認にもたついたのか、その份後に失点。しかし、交代して入った2人がゲームになじむと岐阜のペースになり、後半28分和正のゴールで追いつく。愛媛は退場者も出して足が止まり、イケイケ状態に。そして、ロスタイム。G K野田から流れるようなパスワークで染矢にボールが。そして、染谷の一撃で逆転。これで、長良川の盛り上がりは最高潮になり、そのまま試合終了。やっと、愛媛相手に得点して初勝利となった。で、前回の愛媛戦と何が違ったのかといえば、やはり運動量。最後まで走りきったのが大きい。だからこそ、最後に染矢の一撃が出たのだと思う。

その染矢。これで、アウェイ水戸戦の同点弾に続く今期二度目のロスタイムでの得点。ホーム草津戦でも88分に得点していることから、相手の足が止まる時間、特に持ち味のスピードが生きているのだろう。

今週発売のサッカーマガジン誌には特集にも登場。ノンストップサブライズ新人とあったが、これからも試合中は大いにピッチでノンストップで活躍してもらいたい（残念ながら、今回のC大阪戦は出場停止...）。（緑の小太鼓）

体力消耗戦でした。試合とは直接関係無い所で二つ注文。帰りの臨時バスが柔軟に運行しておらず北側の乗り場に長い行列ができ待ってもバスは来ず結局遅くに来た定期便に皆乗ってました。以前はバス停で待ってたのにどうなっているのか。待機スペースに問題あるならブル西のバス駐車場を活用する事も有るのでは。二つ目は入場者数が三千人に届かなかった事。これは今後の運営を左右する由々しき事態。大量の無料招待券のバラマキやナリフリ構わぬ来場者倍増作戦が功を奏していないのでは。もう暫く様子を見たいがそんな余裕は無いはず。フロントはもう打つ手が無いのか。押谷君は未だチームにフィットしてない感じで今後に期待。個人的には橋本選手のセンス溢れるプレーが好きです。（ミスター珍道）

仙台、湘南、甲府、大阪そして愛媛。岐阜がJに参入してから2年続けてリーグ戦で試合をしたクラブで、一度も勝っていないのはこの5つ。愛媛以外はJ1も経験したクラブで昨季も上位（だからといって、歯が立たないとは思いたくないが）。なのに、愛媛からはこの試合までただの1点も取っていない。0-0の引き分けが一回、勝ち点1しか奪っていない。まあ、上には上があるもので、大阪からは得点はもちろん勝ち点すら挙げることができてないが、それ以外の3クラブからは敵わないまでも点を奪っている。なぜ愛媛には、こうも分が悪いのか？ おまけに、昨季、今季と第1クールは0-3の完敗。昨季なんぞは愛媛戦を境に、奈落の底に転落していったような気がしないでもない。愛媛との全4試合。ホームもアウェイも現地で観戦しているが、どの試合も惜しいというか善戦したという覚えがなく、実に気持ちの悪い点の取られ方、そして敗戦を味あわされてきた。

そんな中迎えたこの試合。蒸し暑さがたまらないコンディションに加え、水曜日には鳥栖とのアウェイ・ナイトゲームをこなしたばかり。体も重いだろうに、キックオフから積極的に攻めていく。0-0ながらも岐阜優勢で前半を折り返し、「今日こそは」と勢い込んだところで、イージーなチェック・ミスから失点してしまう。思わずイヤな雰囲気も漂ったが、今年の岐阜は後半に強い。最後まで走り負けないスタミナがある。この日も、それを存分に発揮。再び愛媛を追い詰め、ついに飛び出した和正の同点ゴール。得点後のパフォーマンスも披露し、試合は完全な岐阜ペース。そして、後半アディショナル・タイム。

試合を決めたのは「岐阜の章駄天」染矢の右足！ホーム草津戦の決勝ゴール、アウェイ水戸＆横浜戦での同点ゴールと、ホント彼には「何か」がある。ようやく、勝ち取った愛媛戦初勝利は、なんと岐阜にとつて初めての逆転勝利とあいなつた。この日集まった2500人余の観客は、ものすごくシアワセな気分浸れたんじゃないかな？ こういう試合は、これからも必ずある。ぜひ、長良川「劇場」にお誘いあわせの上おこしく下さい。（ぐん、）

過去の対戦で一度も勝てず、また1点も奪うことができなかった相手に勝利しかも決勝点がアディショナルタイムと劇的な勝ち方をしただけに嬉しさもひとしおだ。最近の岐阜は本当に良く走り、後半になっても運動量が落ちない。だから、前半を我慢して後半勝負というひとつの形ができてきた感じがする。何気に4月の鳥栖戦からHomeで負けていないというのも大きいかな。（岐阜の誇り）



絵 ひらっち

today's guest  
セレッソ大阪  
2008 J2 第4位

昨年の対戦成績  
第0節 08/03/29 C大阪 1-0岐阜  
第1節 08/05/25 岐阜 0-5C大阪  
第3節 08/09/15 岐阜 0-6C大阪

2009J2

順位表 第2節終了  
勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績  
(岐阜から見て)

1	C大阪	60p	+26	62	A
2	湘南	60p	+26	58	A
3	仙台	57p	+26	46	A
4	甲府	56p	+22	47	H
5	東京V	49p	+13	41	H
6	鳥栖	49p	+11	42	A
7	水戸	49p	+4	44	A
8	徳島	43p	+1	36	A
9	札幌	38p	+1	35	A
10	草津	37p	0	41	A
11	富山	37p	-4	27	A
12	岐阜	36p	-8	29	---
13	熊本	31p	-11	37	A
14	福岡	30p	-23	25	A
15	愛媛	29p	-9	34	A
16	岡山	20p	-25	18	A
17	栃木	19p	-27	20	A
18	横浜C	16p	-23	18	A

次回 HomeGame

第32節  
栃木 SC戦  
8/5(水) 19:00  
@岐阜メモリアル  
センター長良川競技場

投稿募集！

gdaidohr@hotmail.co.jp  
お待ちしております！

F C岐阜大好き通信（岐大通）  
7/26号  
編集発行：『岐大通』製作委員会  
今号の製作担当：ささたく & 吉田鑄造

おしらせ

2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、3~4節ごとに発行の体制で臨んでおります。

次回発行：8/16札幌戦  
よろしく願い申し上げます。



本庄工業株式会社  
http://www.honjo-woodream.com/



何も無い店だけ... 心の花が咲く...  
何も無い店だけ... 心癒される...  
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

# 押谷、挨拶は受け取ったぞ！ 岐阜 2-0 横浜 FC【第 28 節】

多数の来場者は有難い限りです。試合も勝利し今後に弾みがつくでしょう。こうなるとスタジアムグルメ No. 1 を目指している屋台数が以前より減っているのが気がかり。ボランティアの数も足りない。色々問題は山積ですが皆の力で解決できるはず！できる所から協力していきましょう。（ミスター珍道）

FC 岐阜対横浜 FC 戦は 2 対 0 で見事な勝利。横浜 FC にペースを握られながらも後半に佐藤選手、押谷選手のゴールでの見事な勝利。押谷選手は磐田在籍時は出場機会に恵まれなかったもののこのゴールは FC 岐阜の浮上のキーマンである事を証明したゴールに思えました。次の試合も頑張ってください。FC 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

あいにくの雨の中の横浜戦。それでも、開始 20 分前の入場口には傘の列が出来ており、当日券売り場にも長蛇の列が。どうやら、メインスタンドで見ることが出来るアップグレードチケット購入の列らしい。それを横目に会場入り。みるとメインスタンドの屋根の下に多くのお客さんが。もちろん、バックスタンドの屋根の下にも。それ以外にも、傘をさしてベンチに腰掛ける人も。場内ではチームボンチョの販売の放送もあって、緑のボンチョを着ていた人も多く見受けられた。これに関して、やはり傘をささずにボンチョ着用にて見てほしいなあ。いくら、長良川がキャパに余裕があるとはいえ、無駄に場所をとるし、なんと言っても、開いた傘の露先で人を突いてしまい危ない。初めて雨中での観戦という方が多かったのかもしれない。次回はぜひ、緑のボンチョで観戦していただきたい。両手も自由になるから、飲食も楽し、手拍子も出来るので。

で、試合はというと前半は雨の勢いそのままに横浜ペース。キックオフしてすぐにゴール前まで攻め込まれたときにはどうなることかと。しかし、雨が少なくなるにつれて、岐阜も少しずつペースを引き戻す。とはいえ、横浜優位は変わらず。

後半、雨が上がると、横浜がもたつき、岐阜が押し気味に。そして、6 分に磐田から加入した押谷の投入が決め手となる。やはり、名門磐田ユース出身だけあって、雨でピッチ状態が良くなくても、ボールコントロールはばっちり。止める、蹴るが正確。7 分の佐藤の PK につながらるパスもきちんとしてコントロールされたものだった。圧巻は自ら放ったボレーシュート。あそこで、シュートにいけるのは天性のものだと思う。この 2 得点に絡めば、当然のエイデン賞で TV 獲得。異論は無いでしょう。また、この試合の終盤には同じ磐田から加入の須崎も出場。時間は短かったけれど、要所にうまさを感じさせてくれた。今後の二人の活躍で更なる飛躍を期待したい。（緑の小太鼓）

ホーム長良川で 8 試合 4 勝 4 分負けなしと、昨年ホームで 3 勝しかできなかった事を考えると、信じられないくらい絶好調（苦笑）の FC 岐阜。しかし、最下位相手の試合に何故か弱い傾向があるので、暫定ながら最下位の横浜 FC 戦を浮かれた気分で見ることができなかった。加えて、試合直前から降り出した大雨。雨の中での試合に慣れていない若いチームが故に、ホーム長良川で鳥栖に 0-1 と敗れた 4/25 の試合を思い出してしまい、なんだか不安が胸をよぎる。そして、その不安はいきなり現実のものとなって襲いかかる。キックオフ直後いきなり大ピンチ。G 野田の好セーブで失点は防ぐものの、その後も試合の流れを横浜 FC に握られ、なかなかいい場面をつくることできない。粘り強い守備でゴールは許さないものの、そのまま前半終了。しかし雨が上がった後半、徐々にペースを取り戻してゆく。それと共に、スタジアムのボルテージも上がってゆく。押谷が、そして嶋田が投入されると、更に勢いは岐阜に。後半 32 分、ペナルティエリアで倒された洗一が自ら PK を決め、ついに先制すると、大歓声がスタジアムを包む。後ろを振り返ってみると、みんなの拍手と声援が、文字どおり「波動となって身体にぶつかってくる」のを感じた。7000 人もサポーターが選手の背中を後押しする。それに答える選手の頑張りや、さらなるサポーターの声援を引き出す。これこそが『ホーム長良川』だ。試合終了間際には、押谷が美しいジャンピングボレーでダメ押し追加点。歓喜でグチャグチャになるサポーターゾーン（苦笑）。そして、「アイーダ（凱旋行進曲）」の大合唱の中、試合終了の笛。これでホーム 6 勝目、順位も 1 つ上げて 12 位。若いチームが、着実に力をつけている。それを感じさせてくれた試合だった。（ささたく）

互いに大きなチャンスが少なかった中で、2 得点を挙げることができた。しかしながら、立ち上がりの様子では横浜のゲームになってもおかしくなかった。粘り強く守り、巡って来たチャンスをモノにしての勝利。押谷の挨拶代わりにの移籍初ゴール、J 規格とは思えないスケールのデカさを感じた。（岐阜の誇り）

メインでの万歳四唱 最高！（メインからの使者）

横浜 FC には私の家族も観戦に来てくれました。事前に家族分のチケットとしてバックスタンド席を用意していましたが、天気予報は雨。そこで横浜 FC 戦は多分来場者が多くバックスタンドの屋根がある部分は混雑するだろうと「アップグレードチケットサービス」を利用してメインスタンドで観戦する事にしました。そしたら当日のチケット売場は長蛇の列。いつもはかなり空いているメインスタンドも今年初めてじゃないかと思われるくらいの大入り。皆さん、同じ事を考えているんですね（笑）アップグレードチケットサービスは大人は 1000 円、子供は 500 円。メインスタンドは売店にも近いですし、結構お奨めです。（シュナ）

鳴門帰りに寄り道した水戸サポです。

正直、前半は来たことを後悔させる豪雨と内容、それを一気に払拭させた長良川のサポの力。まさに「ホーム」長良川を作り上げたのは 7000 人を超す観客だった。自分で撮影した YouTube の映像を見ても、正吾投入のチャントから PK ゲットまでどんどんテンションが上がっていく様、そして押谷の 2 点目、総立ちのスタンド。ホームで強い岐阜が完全に生まれた瞬間だったと思えます。

ただ、観客数多い試合ではシャトルバス増便が必要かなあ…。帰りのバスでの横浜サポのお姉さんの負けた腹いせとも言えるバスの少なさへの愚痴があっただけに。（izumi）

いったんは「保ちこたえるかな？」と思った天気だったが、願いも空しく降り始めた雨。しかも、降り始めると同時に風も止み、雨雲は長良川競技場の空に腰を落着けた様子。せっかく、今季最高の観客を集めたにもかかわらず、あいにくの状態を迎えたキックオフ。

対戦相手の横浜は第 1 クールからの不調が続き、対照的にこのところ長良川では 8 戦無敗の岐阜が、下位相手にとりこぼさないようゲームを支配してほしいと願っていたのだけれど、いきなりそんな思いは吹っ飛ばされる。開始数十秒で、新加入の横浜 FC に恭平との一対一の場面を作られるも、ここは何とか恭平がセーブ。胸をなでおろしたのもつかの間、次から次へと危うい意図面が連続する。混乱する DF の中で、とりわけリズムに乗れていなかったのが CB このところ、結果を出してきた秀人と野垣内のコンビがどうにも安定しない。友人の言葉を借りれば「秒殺されるかと思った」くらいのハラハラドキドキが続いたが、成績どおりの横浜の不調にも助けられ、なんとか前半をスコアレスで折り返す。

後半になれば、ベテランの多い横浜相手に必ずや結果を出してくれと信じていたら、やってくれたのはニューフェイス。ジュビロ磐田からのレンタル移籍の 2 番・押谷祐樹！縦横無尽に前線を駆け回り、見る者を魅了する。そして、早めのプレスで横浜 DF からボールを奪うと、実に鮮やかなスルーパスを洗一へ。たまたま相手がファウルを犯し、この PK を洗一が決めて先制。さらには、CB から秋田が浮かしたボールを押谷が決める。彼の記念すべき J リーグ初得点は、実に華麗なジャンピング・ボレー！きっと、彼にとっても忘れられない一夜になるだろう。初めて足を運んだお客さんや通い続けたサポーターにも、シッカリと彼の名前が刻み込まれたに違いない。これからの活躍が楽しみで、試合が来るのが待ち遠しいね。

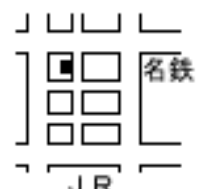
それからこの試合、もうひとつ驚いたのが、横浜カズへのブーイング。バックスタンド側での Q を蹴りに来た彼へのそれは、昨季にはほとんどなかったこと。ただひたすら、岐阜を応援する人が増えたと思っていいのかな？ そう思いたいな。（ぐん、）

最近のホーム戦は善戦や勝利が続いている。観客数も（有料観戦者数は不明）増加している。ゆえの苦言。通称「コアサポ」とよばれるサポーター達に向けて。熱くやるのはいいが、過激に見えることも最近しばしば。お客さんだから何をしても良いわけではない。喜びを表現し爆発させることはよいが、最低限のマナーは守るべき。自分達の行動一つがライト層を取り込むきっかけになることを忘れてはならない。

「行儀良く」と「格好良く」と「熱く戦う」は共存可能と思いたい。あらゆる人が「FC 岐阜と共に育つ」ことが肝要。更に加えて、目の前も重要だが、5 年、10 年、100 年先がより重要。（ヘルハース）

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR 岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。  
休：日曜日（今日はお休みです）



## “東海北陸ダービー”第2戦 借りは返せず…… 岐阜0-0富山【第25節】

FC岐阜がこのままでは解散の危機と聞き、グランパスの試合を差し置いて応援に来ました。若手主体になった事もあり選手が良く走り、良く守っていい試合を見せてくれました。あとは得点力！。そして勝利！。チームが上昇気流に乗ればお客さんももっと入るはず！。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

守備が珍しく安定し安心して観ていられました。富山の攻めが比較的単調で的を絞り易かった事も有るでしょうが野垣内君始め守備陣の意識が高かったのが光ります。今後に期待です。体調管理を細心に高レベルの内容を望みます。（ミスター珍道）

東海北陸自動車道開通一周年記念。こう銘打たれた試合を何とか勝利で終えたかったのだが…。それにしても、富山に勝てない。JFL時代のアローズ北陸、YKK・AP。カターレ富山となった4月のアウェイも含め都合5試合。引き分けはあるが勝利がない。ましてや、前回の対戦では0-3。しかも、スコアだけでなく内容でも完敗。おそらく、今季ワーストといってもさしつかえない試合になってしまった。ついでにいえば、自分的にも大きなショックを受け、考えを改めさせられた一戦だった。自分にとって、思い入れのあるこの試合。（両県の知事が、それぞれ地元クラブのレブユニに身を包み、入場してきたのは実にいい光景だったと思う。）

何度となく決定機を迎えたが、富山ゴールを揺らすことは適わず。富山Gの中川は、ホントに困ったヤツです（苦笑）。なんとか、あの牙城を崩して、第3クールこそ得点と勝利を！

それから、第1クール同様決定機を演出しながら、どうしてもゴールを捉えられない某1番へ。キミの走りや運動量が、岐阜のチャンスを作っているのはマチガイナイ。臆せず、どんどん狙っていこう！（ぐん、）

東海北陸ダービーは0-0のドロー。JFL時代（YKK&アローズ北陸）からまだ一度も勝っていない相手。岐阜はパスの出し手を捕まえきれず、同じような展開でリズムを作られてしまった。富山は一つのボールにきちんと3人が絡んでいくが最終ラインを超えるまでは行かない。とはいえ、お互いに決定機を作れなかったという印象。スタッツも似た感じ。岐阜としては、この試合ぐらいから後半30分以降の展開が面白くなってきた。暑さの中90分間走り続けるというのは、単純だが難しい。だからこそ、最後まであきらめずに応援しようと思う。さらに結果がでているから、より面白くてしょうがない。（ち～な）

## 相変わらず鳥栖戦はロースコアに 鳥栖1-1岐阜【第26節】

FC岐阜対鳥栖戦は1対1の引き分け。前半に1点を先制され苦しい試合展開の中、後半35分に高木選手の値千金の同点ゴール、アウェイでの勝ち点1は大きい。次の試合も頑張っただけいい。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

鳥栖駅舎が今年で築98年だとか。第一次世界大戦どころか日露戦争も体験し、今なお往時の姿のまま、日々の仕事に励んでいる。レールを利用したプラットホームの屋根の梁などに、無口で無骨な趣があって郷愁を誘う。そのプラットホームから、手を伸ばせば届きそうな位置にあるのが、サガン鳥栖のベストアメニティ・スタジアム、通称「ベアスタ」だ。支柱を隠そうともしない、まさに大先輩・鳥栖駅同様の無骨なスタジアムはフットボール専用ということもあって、イングランドにあったとしても何ら違和感がない。羨ましいくらいのスタジアム。交通の要衝として、分岐点の駅として重要な位置にあるとはいえ、人口的にも一地方都市としての苦悩を抱え、数度の危機を乗り越えてきたJの先輩、サガン鳥栖。地道に力を貯え、今季は十分昇格圏内をキープしている見習うべきところの多いクラブといえる。そのサポーター、「サガンティーノ」もいろいろ苦労を知っているせいだろう、試合の前後に暖かい言葉を掛けていただいたばかりか、数名の方から「Yu・me募金」の申し込みもあったそう。残念ながら、今回は諸事情からスタジアム内での募金ができないことを伝えると、後日振り込んでいただいた方もあったと聞く。本当にありがたいことだ。その思いに応えるべく、なんとしてもFC岐阜をいろんな面で強くしていかなければならないと、改めて感じた。

試合については、猛攻に耐え、よく追いついてくれた。選手たちにただ感謝。ただし、引き分けでは第1クール長良川での借りを返せていない。第3クールの佐賀陸上競技場でこそ、ぜひ恩返しをしたいものです。（ぐん、）

## “3名泉ダービー”で3連勝達成！ 草津0-1岐阜【第29節】

ザスバ草津は、FC岐阜が初めて公式戦であいまみえたJリーグのクラブ。3年前の天皇杯3回戦。場所も、この敷島運動公園でのこと。氣勢をアゲて乗り込んだボクらの前で、開始早々2点を奪われ結局3-0と、あっさりJの洗礼を浴びせてくれた因縁の相手。ようやく、同じJ2というカテゴリーで対戦した昨年はついに勝つことができず、なんとか勝ちたいと願っていた草津に恩返しをしたのは今季の第1クール。染矢の決勝ゴールは、今も記憶に新しい。

だがしかし、あの勝利は長良川でのもの。どうしても、草津のホーム・敷島で…、そういう思いを胸に遠征した者も少なからずいたはずだ。そして、ついにその瞬間が訪れた。1-0の完封勝利。そして、クラブ初の3連勝。ウレシイことがいくつも重なった記念の場面に立ち会えたことの幸せ。相手のオウン・ゴールが決勝点とはいえ、シュートを撃つ、その攻撃への意志がなければオウン・ゴールも起こりえない。しかも、そのシュートを撃ったのは、ましてはも染矢。ホントに、この選手は何かを持っている。残念ながら、その後のプレーで勢いあまって警告を受け、次節の大阪戦には出場停止となってしまったが…。

厳密にいえば、3年前の敗戦はこの日の会場・正田醤油スタジアムではなく、隣のサッカー・ラグビー場。そこで勝ちたいという思いが少しはあるけど（笑）、それはゼイタクというものか。それから、昨季と違い、アウェイ側の応援スペースがバックスタンドからゴール裏へ。傾斜がむちゃくちゃゆるいため、視線はほぼピッチ・レベル。向こうのゴールで何が起きているのか、非常に見づらかった。芝生席のため雨の影響が足元がゆるく、跳ねることも困難。これもアウェイの洗礼か（苦笑）。それと、選手入場前の静寂の中、草津のコール・リーダーがサポに向かってくれたアオリがこれまた感慨深い。一字一句は覚えちゃいないが、およそ次のような内容が聞こえてきた。「開幕連勝と快調なスタートを切ったのに、岐阜に負けたあと連敗して、そこからホームで勝てなくなってしまった。ぜひとも、あの時のお返しをしてやろう。今日はオレ達の本気を見せてやるぞ！」未だ、順位が上のクラブのコール・リーダーに、こんなことを言ってもらえるなんて、ウチもそれなりのもになったんだなあ～と思った瞬間だった。（ぐん、）

FC岐阜対草津戦は1対0で勝利。相手のオウンゴールと言う幸運もあるものの今は勝つ事が大事。勝って勝ってもっともっと上へ！。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

19時半からとはいえ、平日アウェイしかも400kmを旅してスタジアムに駆けつけることのできるサポは、そう多くはない。けれど、チーム初の3連勝と、3年前・東海1部時代の天皇杯でJリーグの「壁」を思い知らされた場所・敷島での3年越しの勝利をかけた試合に、30人以上のサポーターが集まった。中2日という厳しい日程での試合は、選手たちにだけでなくサポーターにも厳しいものだった。雨こそ降らないものの、湿度で霧がかかったように見える中での試合。今年から低位置の芝生エリアに移されたアウェイ席。試合は草津の優勢が続き、長い長い我慢の時間帯が続く。けれど、選手達は最後まで必死に走り、集中を切らさず戦い続けてくれた。だから僕らも、最後まで声を取り上げ、拍手し、声援を送り続けることができた。そんな中で掴み取った（「もぎり獲った」って言っても良いぐらいの）勝利。喜びを爆発させ、そしてどこか誇らしげに挨拶にやってくる選手を、こちらでも喜びを爆発させて迎える。ホーム長良川のような大歓声で選手たちを後押ししてあげることにはできないけれど、少人数だから、1人1人が頑張っただけで声援を送るから、結果が出た時の喜びもまたひとしお。みんな「戦友」っていても良いぐらいの雰囲気。こんなアウェイへの「遠征」が楽しくなってくるから、FC岐阜サポーターがやみつきになってくるのです（苦笑）。（ささたく）

## 【セカンド】“全社”本大会出場決定！

7月4日と5日に長良川球技メドウで東海代表決定トーナメントが行われ、FC岐阜セカンドは2勝して10月1日～10月21日に千葉で開催される全国社会人大会に出場することが決定しました。2006年に当時のTOPチームも参加（準決勝敗退）した大会で、JFLへの登竜門にもなる大会。勝ち進めば5日間5連戦という過酷な日程、得るのは総合的に強いチームという名誉のみ。とはいえ、TOP同様セカンドも予算は少なく遠征費などは選手自らが出して行くという噂も…。こちらを読んで興味をもたれた方はご支援をよろしくお願いします。（ち～な）

# FC岐阜 2009 応援チャントピックアップ

## チームチャント

バモ岐阜バモ (Vago y A torrente) <http://jp.youtube.com/watch?v=HdzJSLV2kbY>

バモ岐阜バモ 友よさあ行こう ナダレる 暴れる 我等と  
熱い気持ち バモ岐阜バモ いざ 今戦おう

誇り胸に (Hay che bostero) <http://jp.youtube.com/watch?v=uUEPdWN4FEE>

俺達が 共にいる どんな時も お前と  
今ここで みせる岐阜 誇り胸に 闘え

情熱を胸に (オリジナル)

燃えたぎる情熱を その胸に持ち戦え  
恐れず前を向き ゴールを奪え

## タオル振りチャント

モリヤマ (CULTURE CLUB/Kama Chameleon)【タオル振りチャント】

エーフシーギーフゲットゴール ゲットゴール ゲットゴール

ネットを揺らせ 椰ひろみ 誘われてフラメンコ【タオル振りチャント】

ネットを揺らせユーラユーラ ネットを揺らせユーラユーラ

パパーラ (パパーラ/B-DASH)【タオル振りチャント】

パパーラパーパー パパーラパー  
パパーラパーパー パパーパー

タオル振りチャントは  
この3つ!



## 個人チャント

08 徐冠秀 (アリヲ牧童 /Koyote 038~ ) <http://jp.youtube.com/watch?v=hOKR22C7KaA>

ララー ラララララー  
ファイティン ファイティン SEO KWAN SOO!  
(GO!・GO!・GO!・GO!)

14 嶋田正吾 (ザブングル) <http://jp.youtube.com/watch?v=qDAPLQ B15s>

疾風のように アレ嶋田 アレ嶋田

20 染矢 一樹

ゆけーゆけーバモ染谷 ゆけーゆけーバモ染谷  
岐阜の韋駄天バモ染谷 オーレッ!!バモ染谷

選手入場時は  
『緑のアイテム』  
(タオル 旗 etc) を掲げて  
会場を盛り上げよう!